

第140回研究会 プログラム

| | | |
|----|--|---------------|
| 1 | PHF24とRabタンパク質の相互作用の可能性 | 芹川 忠夫 |
| 2 | Hcn1ノックアウトラットにおけるけいれん誘発と脳波測定 | 西谷 あい |
| 3 | 側頭葉てんかんモデルマウスにおける代謝変化 | 太田 真菜美 |
| 4 | シアル酸転移酵素ST3Gal4欠損オスマウスにおける生殖行動と代謝変化について | 奥野 貴哉 |
| 5 | マウス受精卵の胚性ゲノム活性化時期におけるH3R2me2sの役割 | 守田 昂太郎 |
| 6 | 性決定遺伝子発現前のマウス未分化XY性腺の精巢化を誘導する器官培養法 | 長谷川 千夏 |
| 7 | 遺伝子改変肺発癌モデルマウスによる発癌modifier候補遺伝子の探索 | 齋藤 浩充 |
| 8 | 生活習慣病モデル動物におけるリポタンパクリパーゼ/肝性リパーゼ活性の検討 | 塩見 雅志 |
| 9 | 肥満糖尿病モデルZFDMラットにおけるインクレチン作用障害の発症機序 | 横井 伯英 |
| 10 | 免疫不全ウサギに見られたPneumocystis感染 | 田島 優 |
| 11 | 細菌ゲノム情報はドラフトシーケンスでは不十分、基準株くらい完全長塩基配列が欲しい | 池 郁生 |
| 12 | In vivo Genome Editing for Vision | Jeong Hun Kim |